

尾張 生駒屋敷

Ikoma residence

生駒屋敷跡 【愛知県江南市小折町八反畑】
布袋東保育園 【愛知県江南市小折町八反畑 1 4 7】
久昌寺 【愛知県江南市田代町郷中 5 1】
広間医院 【愛知県江南市布袋町中 2 0 0】
吉乃の方茶毘地 【愛知県江南市田代町西ノ丸】
富士塚 【愛知県江南市南山町東】
宝頂山墓地 【愛知県江南市小折町八反畑】

【立地】 平城
【別称】 小折城

【歴史】 応仁、文明年間（1467～1486年）頃、生駒左京進家広の築城とされる。生駒氏は藤原良房の子孫で、大和国生駒郷に住して生駒氏を称し、その後、尾張國小折へ移住したと云う。2代豊政の時、土田氏の親重〔～1570年8月15日〕を養子とする。3代家宗の娘〔家長の妹〕「吉乃の方」は信長の側室となって長男信忠、次男信雄、徳姫〔徳川信康妻〕を産み、生駒氏は織田氏から好遇された。1560年「桶狭間の戦い」、1563～1567年「西美濃攻め」では生駒屋敷で戦略が練られたと云う。1582年信長没後、織田信雄が4代生駒八右衛門家長〔吉乃の方の兄〕を重用したが、信雄追放後は隠居となる。家長の子5代利豊は尾張を領有した豊臣秀次、松平忠吉、徳川義直に仕え、尾張藩士となる。6代利勝以降、宗勝－致長－致稠...と、4000石の尾張藩士として明治まで存続した。親重の子親正は17万3000石の初代高松藩主となり、2代一正、3代正俊を経て、1640年4代高俊の時、生駒騒動で領地を収公され、出羽国由利郡矢島藩主1万石へ移る。高濑〔以降、8000石交代寄合旗本〕－親興－正親－親猶－親賢－親信－親睦－親章－親孝－親愛－親愛－親道－親敬〔立藩1万5000石〕と明治まで続いた。現在は布袋東保育園などに変わり、歴史看板、石碑が立つ。

